

## 倉敷芸術科学大学

## 芸科大「学長カフェ」オープン！



4月26日(木)、倉敷芸術科学大学の学生控室にて学長カフェがオープンしました。これは、昨秋就

任した唐木学長の発案で、風通しのよい学内づくりの一環として開催されることになったカフェスタイルのイベントです。

今回初めての試みでしたが、新入生を中心に13名の学生が集まり、ジュースを片手にサークル活動、勉強面などの学校生活に対する相談や恋愛論、ホームシックの悩みなどプライベートなものまで、とても和やかな雰囲気の中での意見交換となりました。

終了後、学長は「初めての学長カフェに勇気を出して参加してくれた学生の皆さんは、最初は緊張気味。でも次第に打ち解けて、笑いも出てきました。

大学改善の提案もたくさん出て、宿題をたくさんもらいました。次回も楽しみです」と話されています。

## 岡山理科大学附属高等学校

## ミツバチの飼育実習を実施

ミツバチ観察のため校内に設置した蜂の巣箱から初めてハチミツを採取する作業が4月20日に行われ、岡山理科大学附属高等学校・生命動物コースの3年生は新鮮なハチミツに驚きの体験をしました。

2月に山田養蜂場からやってきた1万2千匹のミツバチ。その巣箱に2月23日、女王蜂が引っ越してきて本格的に観察がスタートしました。

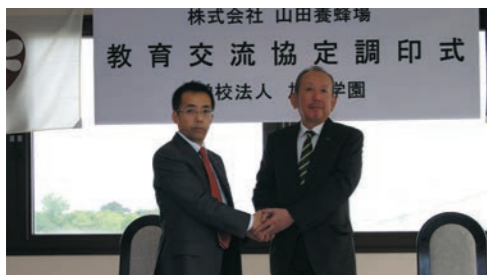
桜が満開の頃はどんどんミツの量が増え、まるで「さくらのハチミツ」ができあがったようです。

「さくらのにおいがする」「甘いにおい」などの声を上げながら遠心分離器の周りを生徒たちが囲みます。そして遠心分離器の下にたまったハチミツをこしながら各自持参の瓶へ。ちょっと手でなめて「あま〜い!」「さくら味だ!」と自然が作り出す「さくら味」に生徒たちは驚きながらも嬉しそうに作業を進めていきました。



## 加計学園

## 山田養蜂場と教育交流協定を締結



5月8日には、学校法人加計学園と株式会社山田養蜂場(鏡野町)が教育交流協定を締結しました。岡山理科大学11号館8階ラウンジで行われた調印式で、加計孝太郎理事長と山田英生社長が協定書に署名し、握手を交わしました。

2010年に岡山理科大学附属高等学校生命動物コースが山田養蜂場で実習を行って以来、交流が続き、今回の協定となりました。今年2月には校舎の屋上にミツバチの巣箱を設置し、観察やハチミツの採取を行っています。

Okayama University of Science  
岡山理科大学

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1  
(URL) <http://www.ous.ac.jp>

Kurashiki University of Science and the Arts  
倉敷芸術科学大学

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640  
(URL) <http://www.kusa.ac.jp>

Chiba Institute of Science  
千葉科学大学

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町3  
(URL) <http://www.cis.ac.jp>

OUS Specialized Training College  
岡山理科大学専門学校

〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8-3  
(URL) <http://www.risen.ac.jp>

Tamano Institute of Health and Human Services  
玉野総合医療専門学校

〒706-0002 岡山県玉野市築港1-1-20  
(URL) <http://www.tamasen.ac.jp>

Kurashiki Cuisine and Culinary Ware College  
倉敷食と器専門学校

〒712-8505 岡山県倉敷市連島町西之浦2640  
(URL) <http://www.kurasen.jp>

Okayama University of Science High School  
岡山理科大学附属高等学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1  
(URL) <http://www.ridaifu.net>

Okayama University of Science Junior High School  
岡山理科大学附属中学校

〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1  
(URL) <http://www.kake.ac.jp/~info-j>

## 学校法人加計学園

〒700-0005 岡山市北区理大町1-1 TEL.086-256-8404  
<http://www.kake.ac.jp/>



# KAKE NEWS

学校法人加計学園通信 第1号

発行元

学校法人加計学園広報室  
岡山市北区理大町1-1  
TEL 086-256-8609  
ひとりひとりの若人が持つ  
能力を最大限に引き出し  
技術者として 社会人として  
社会に貢献できる人材を養成する

岡山理科大学・倉敷芸術科学大学・千葉科学大学・岡山理科大学専門学校・玉野総合医療専門学校・倉敷食と器専門学校・岡山理科大学附属高等学校・岡山理科大学附属中学校

## 好適環境水で養殖——1キロ最高値2000円 「おかやま理大ヒラメ」初出荷

真水にカリウムなどを加えた淡水魚と海水魚が共生できる不思議な水「好適環境水」を使って、加計学園生命動物教育センターで養殖を続けてきたヒラメが4月2日に出荷され、翌日3日に中央卸売市場で競りにかけられました。1キロあたり最大で2000円という、天然ヒラメより高い価格で競り落とされました。

愛称は「おかやま理大ヒラメ」。好適環境水を開発した岡山理科大学工学部の山本俊政准教授や学生らが同センターで養殖。今回は500匹のうち、成育の良いのヒラメ260匹を出荷しました。

山本准教授は内陸部での海水魚養殖の手法確立を目指している。ヒラメの養殖実験は、卵をふ化させた2010年12月からスタート。11年7月にはトラフグを同市場に初出荷しており、ヒラメは2種類目となります。

山本准教授は「岡山に“魚工場”をつくる夢にまた一步近づいた。クロマグロなどの養殖も進めており、今後も安全で安心な魚をお届けする技術の開発に努めたい」と語っています。



## 千葉科学大学

## 竜巻被害地区に災害ボランティア派遣



千葉科学大学では4月1日より、学生によるボランティア活動の支援を目的に、ボランティアの情報収集や提供、就活に役立つ活動歴の証明など活動をサポートする窓口として、「ボランティアセンター」が発足しました。

その第一弾の活動として5月13日、巨大竜巻により被害を受けた地域での救援活動を行うため「学生消防隊」と「スターラビッツ」を中心とした学生24名、学生OB・職員5名によってボランティアチームが結成され、甚大な被害を受けた茨城県つくば市北条地区へ派遣されました。被災地では農地に散乱したがれきの片づけなどの活動に参加しました。

## 岡山理科大学附属中学校

## 授業参観で1年生はドキドキ



岡山理科大学附属中学校では、今年度初めての授業参観が4月21日(土)に行われ、たくさんの保護者が来校。1年生はドキドキの授業となりました。

授業参観は午前9時からと10時からの各50分。自由にクラスを見て回る形式で行われ、保護者達は自分の子のクラスや他のクラスの授業が日頃、どのように行われているのか興味深そうに見学しました。世界地図を広げて国や地域を紹介したり、植物を実際に採取したり。6年生の授業では体格の大きい生徒が多く、授業の内容もレベルが高くなり1年生との差は歴然。同じ校舎内で行われる授業の違いを実際に見学することもできました。

## 学校法人 加計学園

## 山陽新聞社と包括連携協定を締結

3月7日、学校法人加計学園は株式会社山陽新聞社と、教育や研究の推進などを盛り込んだ包括的連携協定に関する協定を結びました。



加計学園50周年記念館で調印式があり、加計孝太郎理事長と越宗孝昌社長が協定書に署名。加計理事長は「連携は大きな喜び。学園が取り組む世界でのさまざまな活動に力を貸してほしい」とあいさつ。越宗社長は「地域社会に貢献したいとの思いは共通。協定が実り多いものとなるよう努めたい」と話されました。

## 岡山理科大学専門学校

## 建築学科卒業制作展2012開催

岡山理科大学専門学校・建築学科昼間部・夜間部・専攻科の卒業制作展が5月16日～20日の5日間、岡山県生涯学習センター(岡山市北区伊島町)の交流棟1階 展示スペースで開催されました。

ワンデーエクササイズ(設計競技会)の入賞作品(日本建築学会奨励賞)、建築・金の卵賞受賞作品(最優秀賞、優秀賞、奨励賞)をはじめ、今年の3月に卒業・修了した学生たちの優秀作品が展示されました。卒業生も展示会場に駆け付け、後輩たちの作品に感心していました。

## 岡山理科大学附属高等学校

## 命に関わる大切な講習会

新学期がスタートし、生徒たちは様々な交通手段で通学を開始しています。4月13日、岡山理科大学附属高等学校運動場で交通安全講習会が開かれました。



「自分で自分を守る、命に関わる講習会です。被害者にも加害者にもならないよう、しっかり講習しましょう」と宮垣校長のあいさつがあり講習はスタート。

まず、岡山西警察署から自転車の盗難が多発しており防止には2ロックが必要。当然のことながら盗むことは犯罪ですと注意がありました。

内輪差学習マシンが生徒の間を回り内輪差をつくるデモンストレーションが行われ、車(特に大型車)の死角と内輪差について学びました。最後は衝突事故。40キロで走る車が人形と自転車に衝突。ドーンという衝撃音に生徒はびっくり。思った以上に衝撃があったことに事故の怖さを知りました。

自分のためだけでなく周りの人のためにも交通安全を心がけましょう。

## 倉敷芸術科学大学

## フィギュアスケート堂々の1位



4月1日(日)島根県出雲市の「湖遊館」で開催された「第33回中四国フィギュアスケート選手権大会」において、倉敷芸術科学大学・生命科学部健康科学科2年生の壬生川真優さんが、選手権クラス女子1位の栄光に輝きました。

壬生川さんは、先日開催された第84回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)に出場したほか、「第67回国民体育大会冬季大会・ゆめリンク愛知国体」においてもフィギュアスケート成年女子部門に広島県代表として出場し、7位入賞するなど、力のある選手です。

倉敷芸術科学大学ではフィギュアスケート部を立ち上げ、大学の付属施設「ヘルスピア倉敷」内のアイススケートリンクで日々練習に励んでおり、今後の活躍が期待されます。

## 岡山理科大学

科学のおもしろさを伝えたい！  
ホームページに「サイパラ」オープン！

「科学っておもしろい!」「Enjoy Science.」というキャッチフレーズのもと、岡山理科大学でサイエンスを楽しむパラダイス「サイパラ」をホームページにアップしました。

クイズやムービー、図鑑で遊びながら、科学の楽しさ・面白さを感じてもらおうというコンテンツです。

【URL】<http://www.ous.ac.jp/scopara/>

## 玉野総合医療専門学校

看護の日に決意新たに――  
平成24年度宣誓式(保健看護学科)

玉野総合医療専門学校で、平成24年度宣誓式が「看護の日」に執り行われました。この式典は看護を志す者としての自覚を促し、専門職業人として道を歩

むことを決意し「誓いの言葉」を述べる式です。

会場の明かりが消され厳かな雰囲気の中、キャンドルの灯を携え、学生全員が登壇して誓いの言葉を述べました。

宣誓者の一人である西村朋美さんは「ナイチンゲールの像からキャンドルの灯をいただき、「ナイチンゲールの勇気と行動力と限りない優しさを受け継ぐ」という事の責任の重さを感じました。病を患った方やそのご家族は、とても不安で苦しい毎日を過ごされています。そのような方々の心にキャンドルのような明るさと暖かさを届け、心と命を支えられる看護師になりたい」と宣誓式を終えて力強く感想を述べてくれました。

保健看護学科の2年生は看護職のスペシャリストを目指して、本格的な実習に臨みます。

## 加計学園 2012年オープンキャンパス・オープンスクール日程

## 岡山理科大学

6月10日	やりたいことを比べて探す
8月4日・5日	自分にあった学科を見つけに
9月23日	進路をしっかりと確認しよう

## 千葉科学大学

6月3日	一足早く、一日だけ大学生に
7月28日・29日	人の命を助けるチームプレー
8月25日	卒業生からのアドバイス
9月30日	就職内定者からのアドバイス

## 倉敷芸術科学大学

6月10日	春のオープンキャンパス「楽しむ」
7月28日・29日	夏のオープンキャンパス「深める」
9月29日	秋のオープンキャンパス「考える」

## 岡山理科大学専門学校

6月9日	6月17日	6月23日
7月7日	7月21日	7月22日
7月27日	7月28日	7月29日
8月2日	8月18日	8月19日
8月22日	8月25日	9月25日

## 玉野総合医療専門学校

6月24日	7月21日	8月4日
8月25日	9月29日	

## 岡山理科大学附属中学校

7月30日	8月28日	8月29日
-------	-------	-------

※ 詳しい情報は各大学のHPをご覧ください。

## 千葉科学大学

## 「人を助けたい」共感を呼ぶ新入生宣誓

4月7日に行われた千葉科学大学の入学宣誓式典では入学生を代表して北海道出身の蛸子真厚君が宣誓し、「人を助けたい」という熱い気持ちのこもった挨拶は、出席者の多くに共感を呼び、盛大な拍手が贈られました。昨年の3月に発生した東日本大震災の報道映像を目の当たりにして感じた無力感や、災害現場で一人でも多くの命を助けようと懸命に活動する消防官や自衛官の姿に感動し、自分も誰かのために何かしたいという当時高校生だった蛸子君の素直な気持ちで表された文章は、続く来賓の挨拶でも賞賛されるほど、千葉科学大学の「人を助けたいという人の大学」のキャッチコピーに相応しい挨拶となりました。

春の便りを運ぶ風が飛脚のように銚子の町を駆け抜け、寄せては返す大吠先の波の上に春の訪れを感じる今日、4月7日私達は、千葉科学大学の入学宣誓式を迎えられたことを大変うれしく思います。

2011年3月11日。私達、日本人が絆の意味を問われたあの日から早くも1年が経ちました。一瞬のうちに全てを無に返さんとする圧倒的な自然の力を私はテレビの画面を通してただ呆然と見ていただけでした。あの映像中でどれだけ多くの命が、思い出が、人々の日常が失われたのでしょうか。助けを必要とする人々に私は何もできませんでした。しかし、同時刻、その瞬間、生きようと懸命に闘う命が何万とありました。そして、その命を救いたい、日本を護りたいと、その身を挺して、死力を尽くして闘う人々がいました。

「人を助けたい」という志を抱き、今日、この場に立つ私達はこの大学で危機管理の素養を身につけ、社会貢献に努力することで、大切に育ててくれた社会への恩返しになると私は考えています。

私はこの一念でこの千葉科学大学を志望しました。私達新入生は、各々がそれぞれに目標を持ち、今、この場に立っています。目標に向かい歩を進めるうち、きっと何度も苦難に直面するでしょう。しかし、私達には仲間が、頼れる先輩の皆さんが、先生方がついてきます。皆さんの助けをいただきながら、仲間同士切磋琢磨し合い、千葉科学大学の学生であることに誇りを持ち、ここで学び得る全てをこれからの現代社会を生きる私たちの力とすることを誓い、入学の言葉とさせていただきます。

新入生代表 北海道 函館ラ・サール高校出身  
危機管理学部 医療危機管理学科1年 蛸子 真厚